

紫笥

VOL.20



昭和52年度 同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年組	電 話
会 長	渡 辺 剛 彰	20-A	8 1 1 - 7 7 0 4
副 会 長	西 岡 弘	20-C	8 1 1 - 6 3 1 1
"	上 前 ラン子	42-F	3 3 7 - 8 3 9 9
会 計	太 田 敏 夫	26-A	0 4 8 4 - 6 4 - 3 9 8 3
会 計 監 査	横 沢 靖 夫	25-C	9 0 1 - 7 7 5 4
"	佐 藤 幸 夫	20-B	0 4 5 - 5 8 1 - 1 3 1 2
総 務	石 原 隆	52-G	9 8 2 - 8 4 0 7
名 簿	熊 坂 由起子	52-A	9 0 2 - 6 3 7 0
会 報	森 幸 治	51-A	9 6 9 - 1 7 5 9
ダ ン ス	鈴 木 武 臣	49-F	9 1 6 - 0 6 4 3



春から秋にかけて、中庭に造園が行なわれました。左は全景。下は記念碑。



目 次

トピックス	1	文京今・昔	10
インタビュー	2	文京高校の印象 (新校長 森 章)	14
いちよう	6	会計報告	15
ダンス	7	進学路	16
文京生との出会い (現教員高橋好文)	8	編集後記	17

世界にはばたけ!!

磯辺隆之くん

——日米ジュニア陸上競技大会で大活躍——
陸上部関東で3位

先に行われた数々の陸上競技大会において、磯辺隆之君（第30期卒予定）が、すばらしい成績をのこしました。



◎日米ジュニア選手権(アメリカ)

サンフランシスコ(日・米・カナダ対抗)

400M 4位

1600Mリレー 1位

ロスアンジェルス(日・米対抗戦)

400M 1位

1600Mリレー 1位

ハワイ(日・米対抗)

400M 2位

1600Mリレー 1位

◎関東高等学校総合体育大会陸上競技大会

200M 2位 5点

400M 1位 6点

400Mハードル1位 6点

学校対抗得点 3位 17点

◎全 国

400M 1位 6点

400Mハードル2位 5点

◎日中対抗選手権大会

北京 1600Mリレー1位

南京 400M 2位

上海 400M 1位

◎第32回国民体育大会(青森)

400M 2位

学校得点トラック部門6位11点

▶▶今後の磯辺君の活躍に注目し、応援しましょう

第3弾

阿佐田哲也
+
色川武大

ヒューマン文庫シリーズ

前回の好評に引続いて、今回も直撃インタビューを企画してみました。直撃インタビューシリーズ第3弾として今回は、「麻雀の神様、阿佐田哲也」こと、作家、色川武大さんにアタックしてみました。



一見気むずかしそうな人ですが、実際は細かいところに気を配ってくれたり、われわれの二時間という長いインタビューに好意的に答えてくれるというなかなかの好人物でした。以下はわれわれ記者と色川さんとの会話をまとめたものです。この会話によって少しでも色川さんのヒューマニティー、人生というものを読み取ってくだされば、われわれ記者としては満足です。

Q 学生時代の思い出は？

A 学生時代の思い出というのは一番にがてなんだなあ。なにしろ不良学生だったからね。それと昔の学校の空気と今の学校の空気とはだいぶ違うんじゃないのかなあ。まあ、なにしろスパルタ教育だったね。多くの学生時代というのは戦争が背景にあったからね。だからどうしても軍隊式になるんですよ。たとえば朝、朝礼が終わると上半身裸になってね、学校の

本名 ▽色川武大^{（敬称略）} 年齢四十八歳 ▽作家
第二期文京生 昭和三十六年、本名で中央公論新人賞を受ける。昭和五十二年、色川武大^{（敬称略）}というペンネームで受賞作「怪しい来客簿」で、第五回泉鏡花文学賞を受ける。 ▽また、麻雀小説作家「麻雀の神様、阿佐田哲也」として活躍している。

周辺を何かかけ声をかけて歩かされたね。それと規律が大事だと言われて、学校へ来る時とか帰る時に歩調をそろえて歩いて言われたね。まあ、ぼくたちの学校とというのは他にくらべてスパルタ教育の度が激しかったね。

Q 不良学生だったと言いましたが、具体的に

にどのような不良学生だったんですか？
A ぼくは学業放棄者だったね。（ここで一同笑う）それと規律を守らなかったね。だから無期停学になっちゃったね……

それと戦争非協力で、20何カ条か条件をつけられてね。たとえば同じ組のやつと町で合っても声をかけちゃいけないとか「工場街を歩いちゃいけないとかね。」

作家というのは、そのころからめざしていましたか？

A うん、別にそのころからストレートで作家になろうとは思っていませんでした。

Q では、麻雀はいつごろからやり始めたんですか？

A うん、覚えたのは戦争中の中ごろだったね。でも、その時は、ただおもちゃとして遊んでただけだね。だから本当にやり始めたのは、戦争直後かな。

Q 最初は、戦中無期停学だったから上級学校に行けなかったしね、だから何と言っても食べて行かなきゃならなかったしね。食べて行くにはやっぱりバクチ（麻雀のこと）が一番金になるからね。

Q どういうところでバクチをやっていたんですか？

A 最初はおもに進駐軍の基地のあたりでやっていたね。……

日本人は特にバクチというものは強いですよ、世界一と言ってもいいぐらいね。それはね、やっぱりこういう島国でね、人が多くてね、生存競争がものすごく激しいでしょ。それから、おおざっぱに言えばキリストの伝統みたいに神という觀念があんまりないでしょ。だから、正義というものの意識があまりないでしょ。だから、神がない、生存競争が激しい、だからバクチなんかという遊びは強いのか

よ……

でもだんだん進駐軍が帰っていつちゃうでしょ。だからそれから後は町の麻雀クラブなんかでやっていたね。

Q その当時、出版社に時々現われたと言いますが？

A うん、朝から晩まで麻雀ばかりやっていたわけじゃないし、そのころ中学生のぼくの書いたものを読んでくれるような先輩がいてね。でもバクチが忙しくてなかなか雑誌の方はできなかったね。本当に雑誌の仕事をやりはじめたのは、21・22

オぐらいの時、バクチから足を洗おうと思っただけかなあ。まあ、それから安月給で雑誌社に勤め、それも一所だけじゃなくいろいろな所を回って歩いてね。それ

と名前を三年に一度ぐらい変えたりしてね。……うん、まあこうしてだんだんと変わって行ったんだけど、それと同時に一度変わったらけっして後戻りしないという気持ちがあったね。

Q 昔は雀荘に入るには少し後ろめたいところがあったそうですが、今はそうでなくなったというのはどういふところにあると思いますか？

A 今世の中が組織社会になったから、麻雀をやるにも同じ職場の人とか、同じ学校の人とか、仲間同士でしか行かなくな

ったからね。昔は一人で雀荘に行って知らない人同士でやったからね、そういう意味で危険な場所だったんじゃないかな。そういうところが今は麻雀がオープン化してきたという原因じゃないかな。

Q 現在のプロの雀師という人たちは、どういふふうに生計を立ててるんですか？

A 生計？まあ、生計といってもぴんからきりまであって、実際にプロの雀師といっ

ても何人かじゃないかな、実際にそれで生活が立ってるのは。それも現稿が大部分であって、まだ実際に対局料だけでまかなってるといふまではいってないんじゃないかなあ。そうなるには、後20年ぐらいかかるんじゃないかなあ。

Q プロとアマの違いとはどういふところにあるんですか？

A うん、……今あんまりけじめがないんじゃないかね。つまり実際それで食っていこうというのがプロなんでね。でも雑誌なんかで存在を認識させていくためにはある程度強くないといけな

またぼくは思うんだけど、麻雀ライターだと思っね、今のプロは。要するに、麻雀の実技よりもパーソナリティーその他で一般タレントと同じで、ただ麻雀を材料にしているだけで、そういう形の方が今は濃いね。

Q 文壇の方のおつき合いは何かありませんか？

A うん、……ぼくはね、小さいころからそうだったけど、何かね、組織というやつの中にね、どうしても逸脱する体質があるのね。だからオーソドックスな本線をいつも行かないの。

Q それは主義なんですか？

A やっぱり体質じゃないかねえ。と言つてまともなことがきらいというわけじゃないの。……やっぱり一人歩きがしたいんだね。……

Q こういう生き方というのは、運に左右されませんか？

A じゃあ、運がよかつたんですか？
Q そうでしょうねえ……

またアウトサイダーの生き方というのは、運が悪いと生きられなくなっちゃうの。十中八九生きられなくなっちゃうの。

(ここで話が途切れ、一時沈黙)

Q ぼくに会わない前のイメージと現実と合った？ 破壊無残だと思つた？ (一同笑う)

Q テレビで見る色川さんというのは、いつも真剣な表情をしているんですか？

A うーん、あれは真剣じゃないの、眠くなっちゃうてるの。(一同笑う)

Q いつも麻雀は絶体に勝とうと思つてやっているんですか？

A いやいや、昔はリーチ負けしたら一晩眠れなかつたね。今は負けてもニヤニヤしてるけどね。……

話しは変わるけど、ぼくは、そうね、20才ぐらいまでそうだったけど、人見知りか激しくてね、ごく親しいのじゃないとあんまり口が聞けなくてね。それがね、バクチの場所でだんだん人見知りが減つていって、人との対応なんか覚えていったりしたね。

それでバクチ場はぼくにとつてはお金をもうける場所だけど、遊びに来てる人はお客さんでしょ。だからぼくは太鼓持ちのようなんだよね。お客さんの気分をそこなわずになるべく楽しく遊んでもらつて、それで5時間なら5時間遊ばせて、

それで日当もらうかわりに勝ち金をもらうというふうにしていたね。だから妾に大人をリードをしたりしてね、負けてる人を元気づけたりしてね。(一同笑う)

Q そしてね、力が5の人がいたら、その人には6の力で勝たなきゃならないんだよ。そうでないと次からやってくれなくなるから。

Q いつもそうしているんですか？

A できない場合もあるけどね、だけど本質的に言つて、アマチャアとプロの差だと



思うの。アマチャアの強さというのは10対0ぐらいで勝つぐらいの強さ。勝てる時一機に勝つ強さ。だけどそれで生計を立てようとすると、それじゃ相手になつてくれなくなるの。だからプロになるといつも4対3で勝つていかなきゃならぬの。……

当時ぼくが17・18才ぐらいのころ、すでにぼくにはお弟子さんがいたの。その人たちはみんなけっこう強くてプロの志望者だったの。ぼくはそういう人たちが家に来るとポケットの中の物を全部とっちゃうの。お金とかたばこかね。そしてこれでやってこいと言うの。当時麻雀は知らない人同志でやるから、一ゲーム終わるごとに精算するのね。だから初めのゲームで負けると払えないからなぐられちゃうの。だからみんな汗をかきながら必死でやるのね。そうしないとプロにはなれないの。なぜかというとな、麻雀というものは遊びだから、いい手がくると遊んじゃうの、強い人はね。いい手がくるといい手であらうと思っちゃうの。これがね、言葉で教えても絶対だめなもの。汗だしてね、これは商売なんだ、商

売は楽しんでやだめなんだということね。体でもって覚えなないとね、言葉じゃだめなんだ。……

それから今でも雑誌何かに載せるやつで、タレントなんかとやるでしょ。そうするとぼくはホストになるわけだから、他の三人はゲストでお客できてるわけでしょ。だから三人にそれぞれやり場を与えなくちゃならないのよ。

A Q スカツと勝ちたいと思いますか？

A あんまり思わない。今はもう、そんなに麻雀に熱があるわけじゃないしね。

A Q 麻雀の必勝法というのはありませんか？

A まあ、観念的に言えば自己管理ができるかどうかだね。まあ勝負ごとは自己管理ができなきゃね。それと技術的には、麻雀で言えば、少なくとも序盤の相手三人のツモ切り方なんか覚えることね。

A あね、数字のね、ごく概念的に言つて役に立つ度合の濃いパイと薄いパイがあるでしょ。たとえば数字は一から九まであるけれど、端っこの方は使はずらくて、中の方が使いやすいでしょ。だから六が初めに出てきて、後からその人の手の中から二が出てきたとすると、普通に言え

昭和52年、『怪しい来客簿』で

第五回泉鏡花文学賞を受ける

受賞作『怪しい来客簿』は、戦中・戦後にかかわりのあった人々を幻想を交えながら描いて味わいの深い作品。

色川氏「庶民層のアウトサイダーを、風俗としてではなく、もっと立体的に描き、それによって書き手の像も浮かび上がってくる。そういうものを書きたかった。

これからは、本格の小説をやってみよう。プリューゲルの画集を一枚々々めくっていきように、現代の人間像が立体的になってくるようなものを。」

ば単に二と六が浮いてるのなら、単に二が出てから六が出た方が使いやすいということがあるでしょ。それが逆に出てくるといのは、それだけの理由がその人の手の中にあるというわけでしょ。そういうことを考えなくちゃね。

まあ、麻雀で大事なことは、ここは自分で攻めていける時なのか攻めちゃいけない時なのかを判断することじゃないかね。また、自分が悪い態勢になつたら、いくらワザをあげてもだめなんだよ。……

即席心の花

西岡澄子

こ数年、夏休みに娘たちと房総の林を歩
き廻るのは年中行事となりました。宿題の植
物採集をするためなのです。ゲンノショウコ
やキンミズヒキなどと出会うと、生物班であ
ったあの頃のように心ときめく感動を覚えま
す。あれから二十数年経った今でも、心はや
はり同じだなあと一人ほくそえむのです。

心と言えば、「心をこめて生ければ、未熟
でも、外人にでも、必ず美しいと感じさせる
花が生けられるわ。頑張っつていらっしやい。」
と、友人の令嬢を送り出したのはついひと月
前のことです。彼女は女子大三年生、夏休み
を利用して語学の勉強にアメリカへ行く。つ

いては日本文化の何かを一つ身につけて行く
必要がありました。友人から、ともかく何ん
とかがしてやってほしいと依頼のあったのは、
出発前一ヶ月余りの花菖蒲の頃でした。しが
ないけ花師匠の私にとって、これは責任あ
る難事でしたが、大事な友人の頼みでは後
にはしませんでした。

週一度の稽古ですが、そこには、彼女の立
派な頭脳と迫られた必要性との相乗作用を持
った味方がありました。古流のいけ花を、古
典の生花（いけ）によって説明した後は、海外向け盛
花で空間構成をしてゆくだけです。わざをみ
がくには練習を積むこと。同じ花材を二度三

度と使う時もあり、玄関や床間の花を取って
生けかえてもらう時もありました。実技のあ
とは花道書で作例を見ながら話し合いました。

床間は、日本人独特の空間であつて外国人
には理解できない由。清家清先生が「間」と
いう言葉を英語で翻訳するのに苦慮なさった
そうで、日本人ならだれでも「間抜け！」と
言えば怒り出すが、これは間の重要性が概念
として滲透しているためとのこと。いかに、
「間」が重要かということなのです。床の間
に、要約された自然美を持つて来ようとした
日本人はいけ花によって自然を再構成して来
ました。そして盛花、現代花を生み、複雑微
妙な無限の美の表現がされるのです。

彼女は、短期間でしたが、「切られた花を
生かす楽しさ」を理解してゆき、面白いと目
をかがやかせて言いました。これなら心が入
ると私は見ました。そして、この美しい目が
このままで帰って来るように、私は心の中で
手を合わせていました。(52年8月記)

ダンス部から

(十九期 A)

久我紀子

さわやかな風にのって軽やかなステップを
 ……で始まるダンス部からの葉書を一度は手
 にされた事がありませんか？私達は同窓生全
 員に差し上げたいと思っているのですが、予
 算の都合上そうできないのが残念です。

現在親しまれているポピュラー・歌謡曲は
 多数ありますが、中にはジルバ・ブルース・



↑デモンストラーション
 5期F 岸本昌次郎
 19期A 久我紀子

ルンバで踊れるものが沢山あります。ジルバ
 ・サンバ・チャチャチャ等、スピード感あふ
 れるものにエネルギーをぶつけてみてはいか
 がですか、それとも優雅なワルツ・情熱的な
 タンゴ・またはブルースでちょっぴりムード
 を味わうのもいかがでしょうか。いずれにし
 ても、何でも踊れるのは楽しいものであり、
 身体を動かす事は健康にも良いのです。

社交ダンスを踊る場合は、ダンスホール・サ
 ークル他、いろ／＼ありますが、当ダンス部
 の特色といえば、今まで顔も知らなかった多
 くの同窓生と、年齢・職業に拘泥せず、心置
 きなく話せるという事です。たとえ同期生で
 も、どれだけの人を知っているでしょうか。

学生時代話した事もない人と、卒業してから
 知り合い、良き友情を続けている人もありま
 す。又、部内でロマンスが生まれ、しあわせ
 の鐘を鳴らしたカップルも二組あります。

同窓会活動での人間関係には、何か潤いがある
 ものです。そんな和気あいあいとした
 雰囲気の中で、プロの先生にダンスを習い、
 総練習を兼ねたパーティーで、楽しい時を過ご



↑講習会

してみたいと思いませんか？覚えたステップ
 は、学校のパーティーはもちろん、職場でも、
 外国へ行っても通用します。

講習会・パーティーは、四月・九月の毎日曜
 日、年に二回です。皆様のおいでをお待ちし
 ております。

場所 社樹ダンススクール(大塚駅前)

会費 三〇〇円位

資格 同窓会会員及び会員の知人

お問い合わせはTEL(九一六)〇六四三
 豊島区上池袋三ノ三九ノ二六 鈴木武臣まで

文京生との出会い

英語科教員

高橋好文

人との出会いには、時として、運命の糸のようなものを感じさせることがあるが、私の場合にも、「文京」との結びつきにはこの一種、驚きに似たものがあつた。東京都の教員採用試験に合格し、希望校に「文京」と書いたのは何故か。そして、友も私がつくと「文京」に決まるだろうと断言したのは何故か。田舎出の私には、都立高校が大学入試に於いて大いなる存在を示していたことは知っていたが、個々の存在は知る由もなかった。唯、恩師が都立高校に憧れていたこと、又、私の中学時代の後輩が都立高校に進学したことから、都立高校が身近なものと感じられなくもなかったが。

さて、何はともあれ、四月（正確には三月二三日）に文京の門をくぐる。玉城、金子、西岡、成瀬、岩田といった先生方と御一緒に一学年を担任することになった。四五年の春である。学園闘争の嵐が吹き荒れた翌年であつた。表面的にはおさまりつつあると思える感があつたが、内面的には、煮えくり返えるものが、ごろごろしてはいた。一年生はともかくも、二年生の教室に行くと、「人間として、平気な顔をして教壇に（教壇がなかったことも私には最初は驚きであつたが）立っていられるか？」「認識論について説明せよ！」といった教師以前というか、人間の根本的存在に対する質問や疑問が私の胸をついた。大学時代に友と激論し、自らに対して厳しく問いを発しながら、とうとう結論でなかつた問いかけが、今、精神的に一番大きな変ほうを遂げようとしている高校生の裡から発せられていたのである。この難問にどう答えていくのか、教師である以前に人間としての生き方を絶えず問いかけるという姿勢を再認識した時代であつた。

自主講座

一年間の学習が全くといって過言でない程、

停滞した後にやってきた学習欲（取えて知識欲と言わなかつたのは、多くのものが、先人の築き上げてきた学問を何らかの形で否定したものと想定し得るからであるが）には目をみはるものがあつた。多くの自主講座が生まれ、諸先生を囲んで、各教科で、授業を乗り越える内容のものが培われていったと言つてもよい。私なぞも、夏休み中、午後の一番組い時に、バケツの水に足をつけ汗をふきふき、彼等と共に勉強したことも今では、懐しい思い出である。彼等は、「会議があるから今日の講座は中止」と言うのと、「先生は怠慢だ、会議と俺たちとどちらが大事なんだ」と詰めてきたものである。幸か不幸か、こうした講座は彼等が文京を卒業した後も毎週土曜日放課後おそくまで、五年間も続いたことは記すに値するものであろう。こうした各自主講座や後に先生方から生徒諸君への働きかけとして生まれた特別講座もその隆盛を極めた

のは何年前だったかと、誰しもが思う程、こ
こ一、二年、ごく少数の生徒諸君を除いては、
こうした講座は無用の物と化してしまっている
のは何んとも残念なことである。かつての
生徒諸君の持っていた生への疑問と、その問
いを教師にぶつけてきた時代のエネルギーは
何処へ行ってしまったのであろうか。

現状が夢であつて欲しい

岩波新書「高校生」が、土居健郎氏の「甘
えの構造」が目にとまった頃、文京生はあい
も変わらず、既成的固定概念に対する反抗の
炎を燃やしていた。自治会はクラス討議を重
ね、微かなものたちの汗の努力と血によつて
再建されていった。それこそ、アリが来たる
べく冬へそなえて、夏の暑い盛りにつせと
働くように、二年の歳月が費やされた。修学
旅行も自らの手で、原点から出発しようとな
がらばつていた。学校行事への参加も年を追
うごとに生徒諸君の数が増していった。巷で
いう三無主義など、嘘の様な心配でさえあつ
た。こう書けば、何んと今の高校生はずばら
しい生き方をしているのかと錯覚されてしま
うかもしれない。これもある意味で、紛争後
の、プラスの面を真摯に継けついで結果の様
に思えてならないのである。この継承が中断

した時こそ、学校全体がその土台から揺れ、
くずれ始めとなることを誰れが予期し得たで
あろうか、否、多くの教師だけが、予期して
いたのかもしれない。生徒同志でかつてはク
ラスを思い、執拗な程、どのようなクラスに
しようかといった声がかれたくらいである
し、ホームルームでも、今の様にすぐ多数決
で持つて決定するということも少なかった様
に思われる。声なき声が勝利を治めていたの
である。声なき声がある方向にむけさせ
ておいてくれたのである。この声なき声こそ、
高校生としての力量を十分にそなえたもので
あり、文京を動かしてきたものなのである。
この声なき声こそ、個々を結びつけている絆
であつた。生きることの意味を真剣に考え、
友に、そして教師に問いかけてきたもので
あつた。今、この声なき声は、教室の隅に、
外に、追いやられてしまつていのか。個を
個のままでもいい（決して心の奥底ではそうは
思つていないのだが）と安易に認めてしまつ
ているものこそは、学校は、人間は、社会の
反映そのものなのだと言責任を転嫁している証
しである。諦念こそ、己の存在を増々歪曲
化し、現状肯定へと拍車をかけるものである。
友が何かしても気にせず（表面的には）、ピ

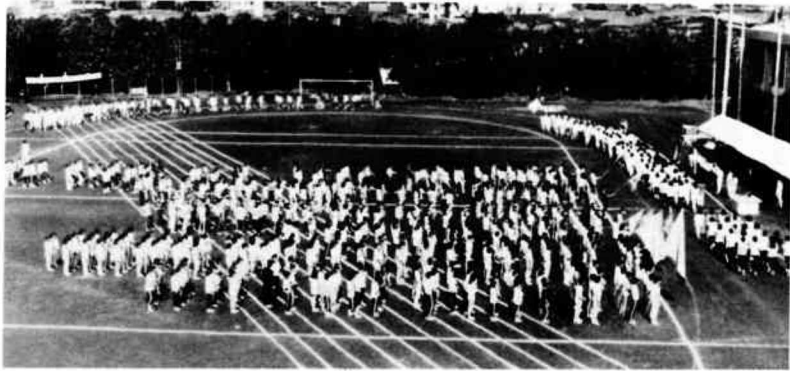
シツとおこる先生を待ち惚がれている生徒諸
君とは本当に高校生なのであろうか。シラケ
と甘えが同居している現状をよしとする高
生なのだろうか。

最後に

こうして書いてくると、昨日の高校生と今
日の高校生との間には想像もつき難い程の隔
りがあるのかと思えてしまうが、確かに意識
の上では、平隠無事な今日と、ある意味で激
動的だった昨日とは相違があつて当然のこと
である。人間の眩惑というか、時として過
去の出来事は現実よりも鮮明に蘇ってくるも
のなのだろう。昨日の文京生も今日の文京生
も、明朗、闊達であるし、良きにつけ悪しき
につけ、おっとりしているのである。そして、
内には、測り知れない、生への問いかけを發
し、悩めるものを持つて日々生活しているの
である。文京を去つて、ふり返えつた時、今
日の文京生も生気あふれるものと映ること
であらう。



今日の文京生



◇昭和初期に今の文京の母校―市立三中が誕生して以来、数十年たち、校舎こそ昔の面影をとどめていますが、その中で様々な文京生の歴史が繰り広げられてきました。

私達編集者が、あさだてつやさん（初期文京）の取材にあたり、今の文京とこんな所が違ってたんだなあ、こういう所は今も変わらななんだなあ、と思えた点も数多くありました。

今の文京生は、のびのびとしていて、悪く言えばのんびりした雰囲気というイメージがありますが、文京生の移り変わりを何年もの間黙って見つめてきた周辺の人々は、いったい今の文京生のことをどう感じ、どのような目で見ているのでしょうか。さっそく私達は文京生と接触の多い人達にインタビューしてみました。◇

〈文房具屋のおじさん〉

Q 今の文京生をどう思いますか？

A 普通じゃないのかね。前は今よりこうな人が入っていたらしいね。よく外回って歩いてくるとき、頭のいい人がたくさんいたって話だね。今は一部の人はいいけど、あとは大部落ちてきたらしいね。それは確からしいね。（文房具屋さん）

中

今はクラブが盛んで開放的な感じがします。前は生徒が出て来なかったのよね。いっさい出さなかったみたい。（お菓子屋さん）

中

一頃は思想的に大部混乱していた時があったけど、今は大部よくなってきていると思いますよ。5・6年ぐらい前が一番過渡期だったんじゃないですか。なごやかになってきたね。前はのんびりしてい

たね。クラブ活動なんかしないでぶらぶらだべったりしていたね。今は定時制の中にちよつと悪いのがあるけど、町の人は一頃より見方がよくなってきていると思いますよ。(酒屋さん)

中

学園紛争やったって一つのはしかりみたいなんでもね、続いているかというところまで終りだしね。変わったと言えば学生かなという感じだね。服装一つだけで内面はわからないからね。どちらかと言えば先生の方が変わったんじゃない。サラリーマンに徹してきたんじゃないのかな。そういうことがね、結局はすべてにあらわれているんじゃないの。こん畜生と思う先生が卒業してみると一番いいと思うんだよね。そういう魅力のある先生がいなくなつたんじゃないの。(金物屋さん)

○次に、先生方が文京生をどうご覧になっているかを、PTA誌「むらさき」から紹介する意味でまとめてみました。

「選択制度について」

三年生になると選択時間があるわけですがその現状はというと、選択時間の遅刻、欠席が極めて多い。一種の解放感をはびこることから起る現象かもしれません。一・二年生にも影響しているようです。

(渡辺先生)

「授業態度と余暇」

以前には、講義が終ると生徒から溜息が流れる充実した講義も、この頃では十分も経過すると生徒の苦痛な顔にぶつかります。一方休み時間の使い方には脱帽

します。野球、ヤンガ、トランプや、ファツション、バイク、バイトなど雑談の話題には不足していないようです。(なるせ先生)

「挨拶について」

生徒の間でさえ「おはよう」の声や、会釈する生徒も少ないようです。又面白い事に授業前の挨拶でも、二年三年になるに従い、先生の顔を見ずに他事をしながら挨拶する生徒





が増えていきます。

(深沢先生)

「思いやり」

昔の生徒は「修学旅行の時ぐらいいは煙草をやめてやろう。見つかったりしたら担任に悪

いからなあ」と云って、すわなかったものですが、今の生徒は「旅に出れば解放的になるのが当り前、担任だって大目に見るさ」と云います。思いやりがなくなったのではないのでしょうか。

(亀井先生)

「求めるが努めぬ風潮」

「クラブをやっているから勉強できない」というのは、ほとんどが努めないままの逃げ口上だし、「運動部員は能なし」と云っているのと同じです。青少年白書では、「無理をせずのんびり暮したい」と望んでいます。無理して勉強せず、クラブを敬遠するが、大半の生徒が大学へは進みたいという「心の貧しさ」を痛感します。

(吉野先生)

「保健室より見た生徒」

朝の一時間目から休養する生徒がありますし保健室に入るなり「〇×の薬下さい」と大

半の生徒が言います。休養を求めてくる生徒の心の不健康が目立ちます。文京生は、本格の面でも都の平均以下ですし、体力のなさも痛切に感じます。スポーツで体力を付けようとする生徒は少なく、厳しさがいやで逃げています。

(本木先生)

◇今の文京生は、のびやかで気楽にやっている感じですが。去年とそんなに変化はないようです。ただ、外出禁止が去年に増して、先生方による外側からのおさえつけに不満を感じています。先生方は、文京生の自覚を認めないというわけではないと思うのだけど、職員会議で決定されたことが絶対的で自治会の力なしが目立ちます。生徒総会が生徒全員によって自主的におこなわれていないということや、文京の自治に無感心な者が多いという今の実態から見ると、自治会の弱さというものは決定的のようです。◇

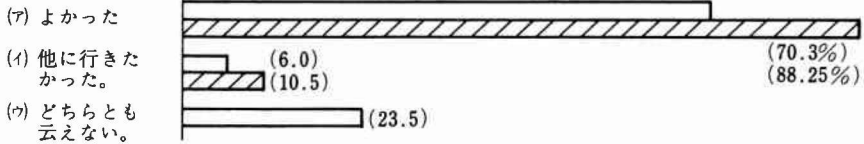
調 査 グ ラ フ

(昭和48年度, 51年度の対比)

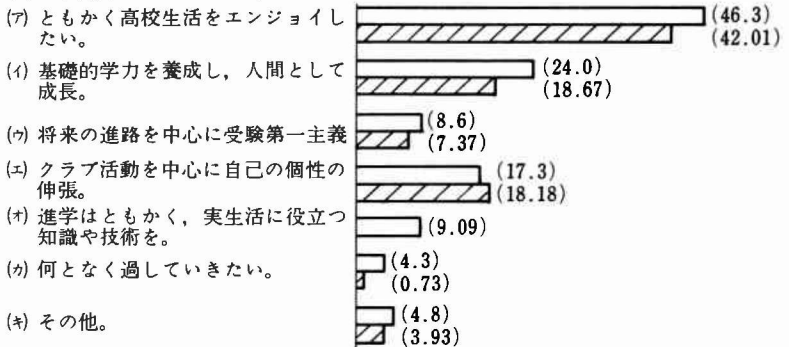
48	
51	

昭51. 6. 23調査

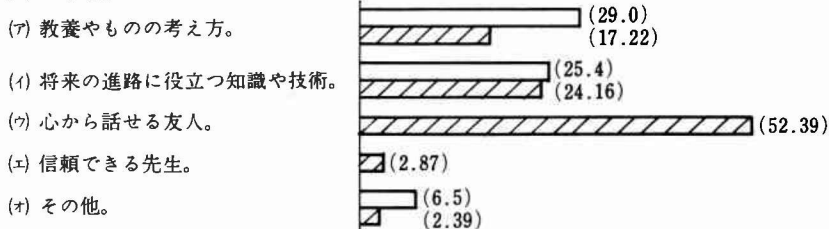
(1) 本校に決って



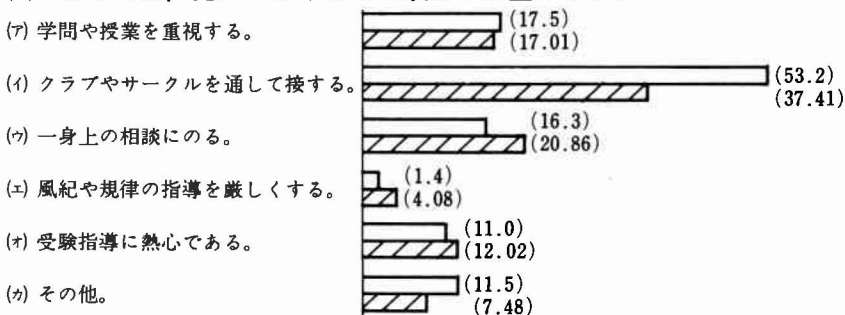
(2) 高校生活をどの様に過ごそうと思っているか



(3) 本校生活で得たいもの (最も強いもの1つ)



(4) あなたは, 先生にどうあって欲しいと望みますか



文京高校の印象

校長 森 章

文京高校には物理の先輩の長谷川次郎先生がいらつしやつたので、物理教育研究会のこゝとで昭和四〇年の前後にはよくお邪魔してご指導を受けていました。その頃の印象では、校門を入つたところは広々としていて、歩けば自然に玄関の方へ導かれ、明るく小寸しゃれた校舎はいかにもモダンな感じでした。

この四月久し振りで校門をくぐつたときは、大きな銀杏と椎の木に象徴されるように、どつしりとした構えと年代を感じ、いかにも興行きが深く、さて玄関はどちらだったかなあとい瞬とまどいました。国電の駅の近くにある商店に囲まれた高校で、これほど静かな学園的雰囲気をもっているところは、都内では珍らしいのではないのでしょうか。

校長室がまた立派です。天井や壁に張って

あるクロスも適当に日に焼け、特に暖炉の上に掛けてある油絵と壁ぎわに置いてある等身大の男女の像は、他の高校には見られないもので、卒業生が寄附して下さつたレザー張りの長椅子とよく調和して、落ちつきのある校長室を飾つてくれています。校庭を彩る樹木の緑とともに自慢できるものと思つています。

生徒の勉強する教室は、先輩達の学んでいつた名残りを残しておくことも大切でしようが、明るくて清潔な感じのする方がよいと思つています。その点、戦後のモデルスクールとして建てられた校舎も少し古びた感じで、廊下などは薄暗いと思つきました。前校長荻島先生が手がけられた校舎改修の仕事を続けてゆきたいと思つています。

さて、一番大切な生徒諸君の第一印象ですが、三年間伊豆七島の中の神津島に新設された神津高校で、厳しい自然に育てられて荒けずりな青年達に接していたせいもあるでしょうが、紳士、淑女の諸君と感じました。素直で明るく、人懐っこい都会の青年の良いところを持つています。のびのびとクラブなどを楽しんでいる姿などをみると、これでいいのだとも思いますが、厳しさを増すこれからの社会に送り出すには、もう一つ力強さが必要ではないかと考えています。



昭和50年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和50.4.1~51.4.22の間の会計は次の通りになります。

昭和51年4月22日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 高橋 努
" 渡部 曜

1. 財産目録 (51.4.22)

イ 貸付信託 (基本財産)	5,790,000円
ロ 現金	1,436,247円
ハ 物品 ①両開き書庫1、 ②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、 ⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1	
ニ 郵便口座	55,890円
ホ 奨学基金	436,329円
ヘ 会館建設基金	449,897円

2. 現金

①収入	3,171,952円
繰越し	980,393
会費 (4,000×408)	1,632,000
利子・配当	416,472
名簿代 (含送料 200)	78,200
その他	64,887

②支出 1,735,705円

①経常費	735,705
内	
各部・会計	35,000
名簿 (600円)	624,000
運営費	51,420
交通・通信費	25,285
②貸付信託	800,000
奨学基金	200,000

③繰越し 1,436,247円

昭和51年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和51.4.23~52.4.26の間の会計は次の通りになります。

昭和52年4月26日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 高橋 努
" 飯島今朝則

1. 財産目録 (52.4.26)

イ 貸付信託 (基本財産)	7,610,000円
ロ 現金	441,281円
ハ 物品 ①両開き書庫1、 ②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、 ⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1	
ニ 郵便口座	2,200円
ホ 奨学基金	467,001円
ヘ 会館建設基金	481,520円

2. 現金

①収入	3,865,751円
繰越し	1,436,247
会費 (51年度卒4,500×406)	1,827,000
利子・配当	457,414
名簿代	39,200
会報協賛金	50,000
振替払出	55,890

②支出 3,424,470円

①経常費	1,604,470
内	
各部・会計	35,000
名簿 (600)	747,000
内	
会報印刷 (25×9500)	237,500
" 送料 (60×7827)	469,620
" 発送料	50,000
内	
通信・交通	29,100
運営費	28,750
献花 (長谷川先生)	7,500

②貸付信託 1,820,000

③繰越し 441,281円

卒業生進路状況

1. 進 学 (1) 52年3月卒 (現役)

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
[国公立・4年]	()女子	[短大・私立・2年]		[各種学校]	
東京外語大学	1	山脇女子短大	(5)	資生堂美容学校	(1)
小 計	1	女子美術短大	(2)	Y M C A 学院	(1)
[私立・4年]		昭和女子短大	(2)	文化服装学院	(1)
東洋大	5 (2)	関東学院女子短大	(1)	武田調理士専門学校	1
専修大	2	聖徳学園短大	(2)	コーセー美容学校	(1)
法政大	3 (1)	共立女子短大	(4)	メーカー・オブ・アーティスト	(1)
東海大	7 (1)	実践女子短大	(3)	早稲田速記学校	(1)
青山学院大	(2)	学習院女子短大	(1)	日本電子専門学校	(1)
跡見女子大	(2)	大妻女子短大	(10)	日本自動車整備専門学校	1
大正女子大	3 (2)	川村学園短大	(1)	都立練馬保安	(1)
和洋女子大	(2)	玉川学園女子短大	(1)	華服飾学院	(1)
国学院大	(2)	跡見学園短大	(3)	織田調理師専門学校	1
桜美林大	1	跡見女子学園短大	(3)	日本指圧学校	(1)
中央大	1	恵泉女子学園短大	(1)	富士タイピスト専門学校	(1)
明治大	2 (1)	明星女子短大	(1)	池田服飾専門学校	(1)
独協大	4	立教女子学院短大	(2)	国立病院医療	
亜細亜大	3	文京女子短大	(1)	センター学校	(1)
明星大	(1)	トキワ松学園短大	(1)	東京デザイン学院	1
上智大	(2)	文化女子短大	(1)	松本英語専門学校	(1)
昭和三女子大	(1)	桜美林短大	(1)	国立西埼玉中央病院	
東洋女子大	(1)	帝京短大	(1)	附属看護学校	(1)
杉野学園	(1)	東京家政短大	(1)	池の坊学園	(2)
貞都学園	(1)	戸板女子短大	(2)	千代田テレビ電子学院	1
相模工大	1	文京女子短大	(1)	一橋スクール・オブ・	
日本薬科大	12	日赤中央女子短大	(1)	ビジネス	(5)
東京写真大	1	杉野女子短大	(3)	津田スクール・オブ・	
東京経済大	2	武蔵野女子短大	(1)	ビジネス	(1)
慶応大	1	都立商科短大	(1)	お茶の水タイピスト	
駒沢大学	(1)	日本女子体育短大	(1)	専門学校	(1)
明治学院	(1)	淑徳短大	(1)	服部調理師学校	1
立正大学	1			大原簿記学校	(1)
成蹊大	1			日米会話学院	(1)
拓殖大	1			竹早教員養成所	(2)
早稲田大	1			日本歯科大附属	
東京家政大	(3)			専門学校	(1)
女子美術大	(1)			杉野ドレスメーカー	
武蔵野女子大	(1)			子学院	(1)
武蔵大	1			桑沢デザインスクール	(1)
芝浦工大	1			村田簿記	4 (3)
千葉工大	1				
国際商科大	1				
帝京女子大	(1)				
立教文化大	(1)				
フロリダ・マイルール大学	1				
小 計	84 (33)	小 計	(59)	小 計	44 (37)
合 計					

1. 進 学 (2) 51年以前の卒業生

学 校 名	人 数	学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
(国公立・4年)	()女子	杏 林 大	1	埼 玉 医 大	1
東 京 学 芸 大 学	4 (2)	武 蔵 野 大	1	武 蔵 野 女 子 大	(1)
都 立 業 大	2	武 蔵 西 大	4 (2)	武 蔵 野 女 子 大	1
千 葉 大	3 (1)	日 本 畜 産 大	2	拓 殖 大	1
市 立 金 沢 美 工 大	1	日 本 畜 産 大	1	東 邦 大	(2)
北 京 海 道 船 大	1	日 本 畜 産 大	4	上 智 大	1
小 計	12 (3)	昭 和 大	2	立 子 大	(1)
(私立・4年)		関 東 大	1	共 立 女 子 大	3
日 本 大	19 (2)	関 東 大	1	東 海 洋 大	4 (1)
法 政 大	7 (1)	中 央 大	2	東 造 大	1
電 機 学 院	2	明 治 大	5	成 城 大	1
青 山 学 院	6	東 京 政 大	(1)	修 徳 大	4 (1)
早 稲 田 大	9	文 学 院	(1)	慈 恵 医 大	1
独 協 大	2 (1)	駒 沢 大	2	国 立 音 楽 大	2 (1)
電 子 工 学 院	1	東 京 経 済 大	1	小 計	100 (17)
				合 計	

職員異動

新任

学校長 森 章
都立神津高校から
教 頭 石川 秀次
都立城南高校から

前川 法久(物理)
都立武蔵丘高校から

新 卒 濁川 富雄(化学)

都立葛飾商業高校から
樺沢 俊和(数学)

都立小松川高校から
松橋 猛(英語)

都立東大和高校から
宮田 隆幸(主事)

新 規 鈴木 誠一(用務)

転任

佐藤 勇人(教頭)
都立忠生高校 校長へ
古谷 遙生(主事)
都立青山高校へ

退職

荻島郁太郎(学校長)
玉城 琉(数学)
渡井栄一郎(化学)
田島 良和(用務)

編集後記

小さな会報だけど、編集が終わってとても
大きな事を沢山体験したように思えます。
この「紫笥」が文京同窓生をいつまでも結び
つけてくれることを願って編集後記とします。

文京高校同窓会報

紫 笥 <第20号>

昭和53年1月20日

発行 文京高校同窓会
編集者 山下 祐嗣・武井 祥司
森 幸治・橋本 佳美
家田 嘉清・茂木 浩
岩重百合子・神田寿々代
印刷 シミズ印刷
電話 (821) 1 6 3 5

<p>会報発行に 協賛いたします</p>	<p>勝山歯科医院 一A 勝山 和夫 墨田区太平3-14-5 ☎623-6592(自)659-5675</p>	<p>銀座菊地病院 (副院長、内科部長) 二A 湖山 聖道 104 中央区銀座 7-13-15 ☎541-1151(自)956-3311</p>
<p>豊北整形外科 (神経痛・骨折) 一A 鈴木 勲 西武練馬駅・安田生命ウラ ☎991-8424</p>	<p>八洲印刷KK 一B 川上 光男 114 北区王子本町 2-11-6 ☎909-3211 (自)815-2839</p>	<p>池袋大久保病院 (内科・胃腸科) 院長 二B 大久保 宏 170 豊島区西池袋1-43-5 ☎987-3785-7</p>
<p>ヨシヒデ金属KK 代表取締役 (非鉄金属材料の販売 金属材料コンサルタント) 一A 郡司 良典 180-03 東久留米市小山 1-7-3 ☎0424-71-4415</p>	<p>榊原製作所 (各種ディスプレイ企画製造) 一B 栗原 正昭 111 台東区元浅草4-5-5 ☎841-2515(代)</p>	<p>弁護士 二D 原田 策司 中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階 ☎571-1780(代) 自宅 大田区上池台3-30-1</p>
<p>婦人科渡辺クリニック 一A 渡辺 邦緒 青山通り富士銀行ソバ ☎403-3777 (自)719-1778</p>	<p>出光ガソリンスタンド 自動車販売整備 飯田橋・神保町 一B 末 正明 112 文京区後楽2-6-1 ☎261-5111 (自)811-0755</p>	<p>喫茶室 ポギー パレスサイドビル地下 三D 安田 多苗 ☎211-6833 自宅 横須賀市三原町4-55</p>
<p>印刷全般、KK祥文社 一A 大山 和男 国電、千代田線 西日暮里駅前 ☎801-2201</p>	<p>同仁産婦人科 (池上線石川台駅前) 一B 野村 総一郎 145 大田区東雪谷 2-24-8 ☎720-1077.727-7100</p>	<p>産婦人科 三E 小室 陽一 〒114 北区岸町1-12-22 ☎907-0303</p>
<p>弁護士 一A 渡辺 剛彰 〒113 文京区西片2-12-23 ☎814-1984</p>	<p>高松診療所 一B 野久保 泰徳 〒190 立川市高松町2-2-24 ☎0425-22-7435</p>	<p>静谷クリニック (内科) 四B 静谷 晴夫 170 豊島区西巢鴨4-6-2 ☎910-1136</p>
<p>渡辺歯科医院 一A 渡辺 敏雄 160 新宿区東大久保2-212 ☎203-3952</p>	<p>日比谷整形外科 一C 山中 秀男 銀座電通どーり ☎571-2045 (自)714-9518</p>	<p>静谷歯科医院 (歯科一般) 七D 静谷 栄夫 170 豊島区西巢鴨3-8-15 ☎915-0072</p>